

会 議 要 旨

(1 / 4)

会議の名称	令和4年度第1回川越市立博物館協議会
開催日時	令和4年8月17日(水) 午前10時00分 開会 午後0時10分 閉会
開催場所	川越市立博物館 会議室
議長(会長)	山野清二郎(会長)
出席委員 (人数)	山野清二郎(会長)、能瀬さち子(副会長)、水谷薫(副会長)、鎌倉敬文、河合正雄、佐藤誠、服部安行、濱田由理子、笛木栄、松本紀美子、矢野礼美(11人)
欠席委員 (人数)	井口修一、寺田智礼、羽石明、矢部智史(4人)
事務局職員 職 氏 名	大澤館長、岡田副参事、荻野主幹、峯岸副主幹、平野副主幹、新関主査
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度博物館職員体制について (2) 博物館協議会について (3) 入館状況について (4) 新型コロナウイルス感染症対応について (5) 令和3年度事業報告について (6) 令和4年度事業について 4. その他 5. 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度第1回川越市立博物館協議会 次第 ・ 令和4年度第1回川越市立博物館協議会 資料 等

議 事 の 経 過

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 報告事項

(1) 令和4年度川越市立博物館職員体制について

(事務局より説明)

(2) 博物館協議会の開催状況について

(事務局より説明)

(3) 入館状況について

(事務局より説明)

【意見・質疑応答】

・本丸御殿より博物館が少ない。以前から話が出ていたがどのような状況か。

(回答) 博物館の入館者については、どこの博物館でも開館から減る。国の指標が入館者数ではなく満足度となってきている。入館者数を増やしていくことにも努めないといけないが、どれだけ満足して帰っていただくかということにシフトする必要もあると考える。

(4) 新型コロナウイルス感染症対応について

(事務局より説明)

【意見・質疑応答】

・感染状況が落ち着かず、この先もウィズコロナとなる状況となるので、対策しながら事業を運営しないといけない。この館には設備管理職員が常駐しているか。また、換気能力により入室の人数を計算することができるが、換気能力は調べているか。

(回答) 設備管理職員は常駐していない。換気能力については調べていないが、昨年度にCO₂を計ることができる空気清浄機を導入した。それまでは定期的に換気を行い、一人あたりの平米数を目安に入館制限を行っていた。現在、講座を再開したが子どもを相手にするため、安全面に重点を置き、人数を減らして様子を見ている状況である。

(5) 令和3年度事業報告について

(事務局より説明)

【意見・質疑応答】

・子ども対象事業について、学年は関係なく含まれているのか。

(回答) 従来は小学1年生から中学3年生を対象とし、保護者も一緒に体験を行っていたが、室内が密になってしまうため、コロナ対策として保護者の入室を制限し、小学3

議 事 の 経 過

年生から中学3年生を対象として実施している。

・子ども対象事業の申し込みは電話とFAXで先着順となっているが、抽選の方が公平なのではないか。

(回答) 申し込みが定員の何倍にもなるような講座については抽選で行っているが、子ども体験教室で2倍や3倍になることはない。

・子ども対象事業について、均一に全ての子どものニーズをカバーするのは難しい。年間の回数は維持し、今年度人気があったものを増やす等の調整をすれば解消するのではないか。

(回答) やるべき講座や希望の多い講座もあるので、公平な募集方法になるように検討していく。

・企画展について、令和3年度の結果を見ると内容により入館者数の差がある。インパクトがある企画展の実施が博物館に来る要因になるのではないか。

(6)令和4年度事業報告について

(事務局より説明)

【意見・質疑応答】

・民俗芸能実演で「中福の神楽」が予定されているが、民俗芸能を見る機会がないため、こういった企画をしていただくと地域への愛着がわくと思う。

・市民が展示について要望を投稿できるようになっているか。

(回答) 広く市民からは行っていないが、企画展等でアンケートを取り、次回以降の要望を聞き、反映する形をとっている。

・企画展について、今まで実施した企画展の中で関心が高かった企画展をパートⅡのような発想で実施してはどうか。

・地方自治体の博物館として地域の歴史をおさえる役割がある。中世以来の歴史を色々な形で持っているのが寺社等だと思うが、今まで企画展がなかった。長期計画を立て、川越の個々の寺社等と提携して企画展を行っていけば、資料も揃うと思う。

(回答) 企画展の中で寺社等から文書等を借用し展示することは行っている。一つの寺社等で企画展を行うのは難しい。また、博物館に寄託されている資料については一点一点調べられるため展示ができるが、各寺社等にある資料については調査が大変で時間がかかる作業になる。

・街中を川越の学生が歩くようになったと思う。ティーチャーズセミナーや初任者研修等、学校の先生が町に出て経験すると生徒にも伝わると思う。高校生はそういう機会が少ないが、最近少し変わってきた。報告の中でも表れていたなのでこのまま進めていただきたい。

・歴史等について、先生がどれくらい面白さを教えられるかが大事であり、博物館が担うことである。

(回答) 川越市の教育の考え方の中に郷土愛をはぐくむというのがある。それに対する

議 事 の 経 過

博物館の役割は大きい。今後も学校との連携を強化することにより郷土の良さを伝えていきたい。

・実際に現地に行く前に調べてから行くことが多いため、武士の文化や町人の力を発信していくと来て下さるのではないかと思う。

4. その他

○蔵造り資料館耐震化工事の進捗状況について事務局より説明

5. 閉会

以上